



Title	日本語・日本文化 第47号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化. 2020, 47
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75883
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介

中田 一志	本センター教授
五之治昌比呂	本センター教授
岩井 茂樹	本センター准教授
小森 万里	本センター准教授
ベレジコワ・タチアナ	
本センター特任助教	
森田 健	本センター非常勤講師

編集後記

『日本語・日本文化』第47号は、前号につづき、本センターで日本語・日本文化の研究および教育に関わる皆様から積極的な投稿が得られ、言語、文化、文学、教育と多分野にわたる研究論文と研究ノートに合わせて6本の論考を掲載することができた。

研究論文は、「のだ」文について意味関係と統語的環境の両面から類型化を図った中田論文、ケンペルの『廻国奇観』という邦題を再考した五之治論文、歌銘茶道具の特徴に関して論じた岩井論文の3本であった。研究ノートは、論文の冒頭章に現れるメタディスコースの考察を行った小森論考、第二次世界大戦後の少年赤十字の復興について論じたベレジコワ論考、和算と算額の持つ文化的側面について述べた森田論考の3本であった。

今後も本センターに関わる皆様から、多分野にわたる意欲的な論考が数多く投稿され、本誌がより多くの方々に参照されていくことを願っている。

『日本語・日本文化』投稿規定

1. 資格：本センターまたは関係機関所属教員（非常勤を含む）及び『日本語・日本文化』編集委員会において適当と認められた者。
 2. 内容：日本語・日本文化等に関する未発表の研究論文・研究ノート・研究報告等。
 3. 体裁：研究論文はA4用紙35字×35行20,000字程度（欧文はA4ダブルスペース30行10,000語程度）、研究ノート・研究報告は10,000字程度（欧文は5,000語程度）。
 4. 要旨：本文和文の場合、欧文による要旨（A4ダブルスペース1枚）を、欧文の場合は、和文による要旨（800字程度）を添付。
 5. 採否：原稿の採否は『日本語・日本文化』編集委員会が決定。
-

編集委員

岩井 康雄 岩井 茂樹 小森 万里

日本語・日本文化 第47号

2020年3月31日 発行

編 集	大 阪 大 学
発 行	日本語日本文化教育センター
	〒562-8558
	箕面市粟生間谷東8-1-1
	電 話 (072) 730-5459
	FAX (072) 730-5074
印 刷	株式会社アイジイ